



## 終活と空き家

ちょっと役立つ空き家の  
豆知識をお伝えします

「終活」という言葉を聞かれたことはありますか。

終活と聞くと「死ぬための準備をする」という後ろ向きの印象を持つ人もいらっしゃると思います。しかし、そのような後ろ向きの活動だけではなく、これからの人生をどのように生きていくかを定めるための前向きな活動でもあります。

終活の第一歩目は「エンディングノート」を書くことです。エンディングノートとは自分の思いや希望を家族、友人に確実に伝えるためのノートです。自分の生きた道（経歴）や思い出、医療や介護の希望、葬儀やお墓の希望、金融資産や不動産などを記入していきます。遺言と違い法的拘束力はありませんが、自分が死んだ後どのようにして欲しいかという思いを伝えることができます。

私は協力隊として空き家バンクの業務に携わっています。和歌山だけでなく、全国的に空き家の増加が問題になっています。持ち主が亡くなった後、どうすれば良いか分からずに放置されている空き家も多くあります。しかし、エンディングノートで自分の家をどのようにして欲しいかを事前を書いて思いを伝えておくこと

で防ぐことができた空き家も多くあります。空き家になってから考えるのではなく、空き家になる前に考えることも必要だと思います。

終活を始めるのに早すぎることはありません。エンディングノートはインターネット上で無料配布しているところもあり手軽に始めることができます。いきなり全てを埋める必要はありません。新年にもなりましたので、新たな気持ちでゆっくり始めてみてはいかがでしょうか。

和歌山地域おこし協力隊 野田憲二 AFP（日本FP協会認定）

### 協力隊活動記 Vol.49

こんにちは！協力隊の野田憲二です。移住センターが開設され4カ月が経過しました。月例の移住相談会に加えて、協力隊自ら企画してイベントを行っています。一定の成果はあるものの集客や宣伝には課題が残っております。今年はその点を改善していきたいと思っています。

現在「終活ライフケアプランナー」の学習をしています。コラムでも書いた通り空き家になる前の対策にも取り組んでいく必要があると思います。金融機関で働いていた時に取得したFPの資格や金融知識と「終活ライフケアプランナー」を組み合わせ住民のみなさんに提供できるイベントを企画しています。

引き続きよろしくお願いします！